


様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

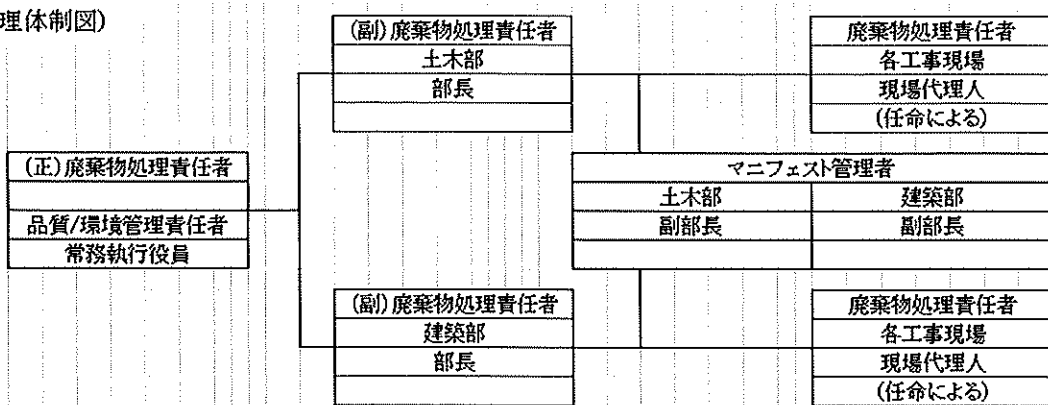
産業廃棄物処理計画書	
令和7 年 6 月 26 日	
茨城県知事	
大井川 和彦 殿	
	提出者
	住 所 茨城県水戸市千波町1905番地
	氏 名 昭和建設株式会社
	代表取締役社長 仁田原 一義
	電話番号 029-241-2161
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	昭和建設株式会社（茨城県内（水戸市内除く）各工事現場）
事業場の所在地	茨城県内各所（水戸市内除く）
計画期間	令和 7年 4月 1日 ～ 令和 8年 3月 31日 まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 ￥ 4, 1 8 5 百万円（令和6年度実績）
③ 従業員数	140人（令和7年5月末現在）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	各現場毎に処理を実施 委託契約書の作成 ↓ 排出（自社及び委託収集運搬業者へ委託） ↓ 自社中間処理施設及び他の中間処理施設へ委託

（日本工業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ R06 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 過剰梱包をしないように協力業者、資機材納入業者に協力依頼している。 ・ コンクリート二次製品の発生品を可能であれば再利用するようにしている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 現状通り今後も実施していく。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 現場で分別をするためのスペースがあれば、すべての分別を行っている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 現状通りすべての分別を行って行く。 ・ 分別が困難な現場でも出来る限り混合廃棄物の排出量を減らしていく。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ R06 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ R06 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト殻	コンクリート殻
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	80.3 t	60 t
	(これまでに実施した取組) ・破碎後、再生合材として再利用製品化している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト殻	コンクリート殻
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	100 t	80 t
	(今後実施する予定の取組) ・現状通り破碎後、再生合材として再利用製品化していく。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ R06 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ R06 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	6852.619 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	2528.31 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・分別を進め、処理委託量を減らすように努めている。 ・再利用可能なコンクリート二次製品等は、再利用を検討し排出量を減らすよう努めている。		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全 処 理 委 託 量	7207.5 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	2651.5 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

①現状	アスファルト塊	コンクリート塊	ガレキ類	ガラス・陶器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合	石綿含有産業廃棄物	建設汚泥	木くず	紙くず	繊維くず	廃石膏ボード	石綿含有粉塵材	小計
産業廃棄物の種類															
排出量(t)	490.380	2,177.880	266.600	47.500	49.730	11.550	160.960	0.320	282.629	3,469.280	2.280	0.180	32.680	0.600	6,992.569

【要旨】

②計画	産業廃棄物の種類	アスファルト塊	コンクリート塊	ガレキ類	ガラス・陶器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合	石綿含有産業廃棄物	建設汚泥	木くず	紙くず	繊維くず	廃石膏ボード	石綿含有粉体処理材
	排出量(t)	500,000	2,200,000	300,000	50,000	50,000	15,000	200,000	1,000	300,000	3,600,000	3,000	1,000	35,000	7,256,000

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(令和6年度)実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト塊	コンクリート塊	ガレキ類	ガラス・陶器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合	石綿含有産業廃棄物	建設汚泥	木くず	紙くず	繊維くず	廃石膏ボード	石膏含有物原料	小計
全処理委託量	410.080	2,117.880	266.600	47.500	49.730	11.550	160.960	0.320	282.629	3,469.280	2.280	0.180	32.680	0.600	6,852.269
優良認定処理業者への 処理委託量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
再生利用業者への 処理委託量	410.080	2,117.880	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2,527.960
認定熱回収業者への 処理委託量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

①現状

【題意】

産業廃棄物の種類	アスファルト塊	コンクリート塊	ガレキ類	ガラス・陶器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合	石綿含有産業廃棄物	建設汚泥	木くず	紙くず	繊維くず	廃石膏ボード	石綿含有物建材	小計
全処理委託量	450,000	2,200,000	300,000	50,000	50,000	15,000	200,000	1,000	300,000	3,600,000	3,000	1,000	35,000	1,000	7,206,000
優良認定処理業者への 処理委託量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
再生利用業者への 処理委託量	450,000	2,200,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,650,000
認定熱回収業者への 処理委託量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

②計画

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度（令和6年度）実績】															
①現状	産業廃棄物の種類	水銀使用製品	廃油													合計
	排出量(t)	0.050	0.300													6,992.919
	【目標】															
②計画	産業廃棄物の種類	水銀使用製品	廃油													
	排出量(t)	0.500	1.000													7,257.500
産業廃棄物の処理の委託に関する事項																
	【前年度（令和6年度）実績】															
①現状	産業廃棄物の種類	水銀使用製品	廃油													合計
	全処理委託量	0.050	0.300													6,852.619
	優良認定処理業者への 処理委託量	-	-													-
	再生利用業者への 処理委託量	0.050	0.300													2,528.310
	認定熱回収業者への 処理委託量	-	-													-
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	-	-													-
	【目標】															
	産業廃棄物の種類	水銀使用製品	廃油													合計
②計画	全処理委託量	0.500	1.000												0.000	7,207.500
	優良認定処理業者への 処理委託量	-	-													-
	再生利用業者への 処理委託量	0.500	1.000													2,651.500
	認定熱回収業者への 処理委託量	-	-													-
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	-	-													-